

1 <http://www.shimanoarchive.com>

Xxxxxx Xxxxxx
0000 XXXXXXXX XXXXX
XXXXXXXX, XXXXXXXX 00000
000-000-0000

1993年8月5日

禅研究理事会
223 E. 67th
New York, N.Y. 10021

禅研究理事会員の方々へ

1992年の9月3日、私は大きな希望と共に大菩薩禅堂に到着しました。禅堂は初めてで、これからどうなるか分かりませんでした。坐禅や仏教の勉強や独参、嶋野老師との公案を楽しみにしていました。彼は偉大な指導者としてXXXXXXの仲間と先生により推薦されていました。

最初から嶋野老師の視線に気付いていました。よく廊下で呼び止められたり、会議室で小さなプレゼントをくれたりしました。彼は皆に同じ様にしていたと思っていました。しかし「Golden

Wind」接心の最初の夜、私を引っ張り口にキスをした時考え方は変わりました。「初めてあなたを見た時、何かを感じました。ひょっとして将来私たちの間に何かあるかもしれませんね。」と彼は言いました。これは初めて身体の接触があった時のことでした。この様なことは独参の80%続き、抱擁からキス、キスから胸を触るという風になって行きました。ある時点ではセックスをしたいと言われた事もありましたが、私は嫌ですと言いました。真っすぐ私の目を見て、「あまり待たない方が良いでしょう。」と言われました。彼の発言は隠された脅迫で、もし思い通りにさせないと精神的にも感情的にも見捨てられると分かりました。なので自分自身の弱さと恐怖で彼の望み通りにしました。独参の最後の夜、彼とセックスをする約束をしました。見られると大きな問題になるので、部屋に入る時誰にも見られない様にと言われました。親友のXXXXとXXXX、そして私の婚約者XXXXを裏切るのが嫌で、真実を言いたいと言うと「嘘をつきなさい。」と言われました。この後気分が悪くなり、毒を盛られた様でした。彼に迷惑をかけたくないと思う一方で、非常に不安な気持ちもありました。この悲惨な不倫は1992年12月11日に私が禅堂を去るまで続きました。

XXXXXに帰ったら、この不倫で自分の責任（責任の欠如）にだんだん気が始めました。やっとこの秘密を言うことができ、ほっとしました。一月からのセラピーで、私の精神的に弱い所の元や嶋野老師にこんな事をさせる理由を探し始めま

した。彼に従い、公正さを見失った自分が恥ずかしく思います。信用した人に利用されたことをとても怒っています。簡単に言えば、私は男性優位の癖があり、残念ながらこの社会や世界中の他の女性は男性優位とずっと教えられてきました。嶋野老師みたいな男性はこういう女性を餌食にします。

終わりに、私は自分で嶋野老師のセクハラを止めさせれば良かったと思ってます。しかしそれはこの問題の元ではありません。問題は彼が信頼関係を壊し、今でも多くの人を傷つけています。自分の経験で、彼が神聖な境界を破った時から私の中のスピリチュアルな希望がなくなりました。指導者として絶対弟子に性的な境界を破らないことに責任があります。そうすれば本来の信頼関係が築かれるでしょう。

敬具

Xxxxxx Xxxxxx

公証人

Xxxx Xxxxxx